

令和8年3月4日

日野町議会議長 中原 信男 様

日野町議会議員 小河 久人



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の背景・趣旨	質問の要旨 (具体的に回答を求める事項)	質問の相手
日野町の教育について	<p>施政方針において、国際バカロレアプログラムの認定を通じて実現性・妥当性の検討を掲げています。そこで、人口減少や少子化が進む中であっても、子供達一人一人に世界と繋がる学びの機会を保障していくことは、本町の将来を支える大切な投資であると考えます。しかし一方で、教室の中だけで完結する学びではどうしても実感を伴った国際理解や多文化共生の感覚を身につける事は難しい面があります。</p>	<p>1. 本町としてどのような資質や能力を備えた子供を育てていきたいのかその子供像、目標像をお聞かせください。</p> <p>2. IBプログラムを通じて国際教育を進めていくにあたり、その理念を実体験とし、子供達に感じてもらう具体策として、海外派遣事業を検討してはどうかと考えますが見解を伺います。</p>	町長 教育長
農業問題について	<p>本町では高齢化や後継者不足により、農業の担い手が減少し、農地の耕作放棄が着実に増えてきています。もはや現状の担い手だけでは、将来の農地保全を担いきれない段階に来ていると考えます。そこで、日野町新・農業推進プランを策定されました。施政方針でも、スマート農業を導入する対策を促進すると掲げられました。</p>	<p>1. 高齢化が進み、小規模で分散した圃場が多い本町の実情を踏まえ、どのようなスマート農業技術を優先して導入していくのか伺います。</p> <p>2. 今後どのような具体策をお考えでしょうか。次の三点について質問します。 ・担い手の確保・育成 ・水路維持管理 ・企業との連携</p> <p>3. 現在の耕作放棄地の状況と将来見通しをどのように認識しているのかお聞かせください。</p>	町長